

2026年3月期

中間期決算説明会

2025年11月19日

 **ワイエイシーホールディングス 株式会社**

(証券コード：6298 東証プライム)

<https://www.yac.co.jp>

▲ 将来見通しに関する記述についての注意事項

この報告資料に記載された当社の将来の見通しは、現時点で利用可能な情報に基づいています。しかし、以下の要因により、実際の売上高および利益は予測値と大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。

- 当社の主な顧客である半導体業界などは、技術革新が急速に進み、競争が激しい市場です。
- 世界経済、為替レートの変動、業界の市況や設備投資の動向といった外部要因が、当社の業績に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性があります。

概要

- | | | |
|----------------------|---------------------|-------|
| 1. ご挨拶 | 代表取締役社長 | 百瀬 武文 |
| 2. 2026年3月期中間期連結決算総括 | 取締役常務執行役員 | 畠山 督 |
| 3. 各関連事業の中間期実績とトピックス | | |
| -①半導体・メカトロニクス関連事業 | 取締役副社長 | 伊藤 利彦 |
| -②環境・社会インフラ関連事業 | 取締役専務執行役員 | 大倉 章裕 |
| -③医療・ヘルスケア関連事業 | | |
| | ワイエイシイバイオ（株）代表取締役社長 | 関口 孝 |
| 4. ワイエイシイグループの現状と展開 | 代表取締役社長 | 百瀬 武文 |
| 5. Q&A | | |

1. ご挨拶

ワイエイシーホールディングス株式会社

代表取締役社長 **百瀬 武文**

2. 2026年3月期中間期決算総括

ワイエイシーホールディングス株式会社

取締役常務執行役員 **富山 督**

1. 全体総括

【収支面】

- ・ 前年同期比で増収増益
各段階利益はボトムラインに至るにつれ「増益幅・増益率」が拡大
- ・ 2Q単体（7月～9月）は、1Q単体比で大幅改善
各段階利益は、いずれも10億円強の増益

【財政面】

- ・ 総資産は、2025年3月末比で410億円→415億円と若干の増加
- ・ 自己資本比率は、再び40%台をキープ（2025/6末：38.6%、2025/9末：40.5%）

2. 収支状況（各段階利益）

【粗利益】

- ・ 粗利益増の大宗は「増収要因」によるもの。（粗利率の改善効果は僅少）

【営業利益】

- ・ 前年度グループ入りした「（株）テクノオプティス」の経費負担を吸収し営業利益率・同額と共に順調に拡大

【経常利益】

- ・ 上記に加え、前期発生した貸倒損失負担の解消、為替損益等の改善も相俟って、経常利益は倍増。

【当期利益】

- ・ 税前利益の増加に加え、法人税負担も減少し、親会社帰属の中間純利益は著増

3. 財政状態

【総括】

- ・ 今次中間期は、引き続き米国ライナス社向け出資を行い、固定資産（投資その他資産）が続伸
- ・ 売上増に起因する[棚卸資産減 → 売上原価/売上高 → 売上債権増]とB/S内振替も発生

【キャッシュフロー】

- ・ 営業キャッシュフローは引き続き黒字（入超）を確保するも、上記B/S内振替に伴う運転資金要因負担が損益要因効果を減殺

4. セグメント別情報について

【収支状況】

- ・ 今次中間期は、全セグメントで営業黒字を計上。
就中、「環境・社会インフラ関連事業」が全体を牽引。

【受注状況について】

- ・ 今次中間期は、前年同期比で「受注高」「受注残」何れも増加

5. 今年度事業トピックスについて

【TTホールディングス（株）＜（株）テクノオプティスの持株会社＞の100%子会社化】
本件、当初は2段階取得（2025/1末、2027/3）を計画するも、同社の収益寄与を期待し、早期に100%子会社化を実施。

【米国ライナス社の追加出資】
今次出資により、外部株主としては筆頭株主の地位を確保。
当社社長の百瀬が同社取締役就任。

6. 株主還元について

- 自社株買いの実施（取得金額10億円（上限）、買付株数140万株（上限）
期限2026年5月末）
- 累進配当の導入（30%配当性向 → 累進配当への切替え）

7. 2026年3月期通期予想について

【通期業績予想】

通期業績予想に変更なし

（売上高300億円、営業利益20億円、経常利益18億円、 当期利益12億円）

【通期配当予想】

年間40円配当（中間20円/期末20円）株式分割前換算で今期は5円の増配
（@75円→@80円）

- 増収増益決算（各段階利益はボトムラインに至るにつれ増益幅・増益率が拡大

【増収要因（+430M） + 利鞘率要因（+21M） = 粗利増（+451M）】

（単位：百万円）

	2023/9期 実績	2024/9期 実績①	2025/9期 実績②	増減額 ② - ①	増減率 同左	通期業績 予想/進捗
売上高	11,506	11,291	12,850	1,558	13.8%	(43%)300
粗利益	3,189	3,098	3,549	451	14.6%	
同率	27.7%	27.4%	27.6%			
営業利益	710	601	773	171	28.5%	(39%)20
同率	6.2%	5.3%	6.0%			
経常利益	861	314	658	344	110.0%	
中間純利益	700	23	369	345	1,461.0%	(31%)12

(単位：百万円)

	2020/9期	2021/9期	2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期
売上高	12,230	11,075	10,976	11,506	11,291	12,850
粗利	2,440	2,909	2,671	3,189	3,098	3,549
同率	20.0%	26.3%	24.3%	27.7%	27.4%	27.6%
営業利益	311	716	473	710	601	773
同率	2.5%	6.5%	4.3%	6.2%	5.3%	6.0%
経常利益	307	730	577	861	314	658
同率	2.5%	6.6%	5.3%	7.5%	2.8%	5.1%
中間純利益	273	524	325	700	23	369
同率	2.2%	4.6%	3.0%	6.1%	0.2%	2.9%

- 2025年9月期（中間期）は、各セグメント何れも引続き営業黒字を計上
就中、今次第二四半期は「環境・社会インフラ関連事業」が全体を牽引

（単位：百万円）

	事業セグメント			小計	調整	合計
	半導体・ メカトロニクス	医療・ ヘルスケア	環境・社会 インフラ			
24/9売上	4,987	2,692	3,611	11,291	-	11,291
24/9営利	806	149	67	1,023	△421	601
25/9売上	4,977	2,779	5,094	12,850	-	12,850
25/9営利	746	151	303	1,202	△429	773
売上増減	△10	86	1,482	1,558	-	1,558
利益増減	△59	2	236	179	△7	171

(単位：百万円)

	2024/9期末 報告セグメント				2025/9期末 報告セグメント				合計 増減 金額
	半導体 メカトロ	医療 ヘルスケア	環境社会 インフラ	合計	半導体 メカトロ	医療 ヘルスケア	環境社会 インフラ	合計	
日本	3,518	2,519	3,098	9,136	3,599	2,491	3,727	9,819	683
中国	202	-	370	572	368	-	1,087	1,455	883
アジア 他	1,136	45	138	1,321	999	79	168	1,247	△74
その他	130	126	3	260	9	207	110	327	67
合計	4,987	2,692	3,611	11,291	4,977	2,779	5,094	12,850	1,558

- 総資産は前期末比4億円増の415億円。結果として「短期資金借入増」により「ライナス出資」の他、「経常運転資金」を賄った形

(百万円)

	2024年9期末	2025年3期末①	2025年9期末②	増減②-①
流動資産	29,352	29,760	29,431	△328
固定資産	11,365	11,325	12,063	737
総資産 計	40,718	41,086	41,495	409
流動負債	14,057	15,011	16,576	1,565
固定負債	9,930	8,980	8,068	△912
純資産 計	16,730	17,093	16,850	△243

- 連結自己資本比率

— 総資産は増加するも連結自己資本比率は40%をキープ —

	2023/3期末	2023/9期末	2024/3期末	2024/9期末	2025/3期末	2025/9期末
自己資本比率	41.1%	39.1%	38.7%	41.0%	41.1%	40.5%

2025年度中間期の受注状況について

13



➤ 今期中間期においては「受注高・受注残」何れも前年同期比で純増

9月末受注高：前年同期比続伸（+1,689百万円）

9月末受注残：前年同期比増加（+722百万円）

（単位：百万円）

新セグメント	2024/9期末 実績①		2025/9期末 実績②		増減額 ②－①	
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残
半導体・メカトロ	4,419	4,397	5,181	4,937	761	540
医療・ヘルスケア	2,251	5,245	2,298	4,236	47	△1,009
環境・社会インフラ	3,797	7,107	4,677	8,296	880	1191
合計	10,468	16,747	12,157	17,470	1,689	722



- 営業C/Fは「入超」となるも、前述の通り、「運転資金要因（負担増）」により「損益要因（増益）」の改善幅を減殺、財務収支も前年同期比で見れば借入増に転換

【営業C/F (508M) = 損益要因 (808M) + 運転資金要因 (△300M)】

(単位：百万円)

	2024/9期 実績①	2025/3期 実績	2025/9期 実績②	増減額 ② - ①
前期末現金同等物①	7,558	7,558	7,094	
営業活動C/F	1,535	2,670	508	△1,027
投資活動C/F	△881	△1,077	△742	139
財務活動C/F	△1,241	△2,069	23	1,264
為替換算	66	72	△35	
9月末現金同等物②	6,978	7,094	6,848	
期中増減	△580	△464	△246	

自己株式取得にかかる事項の決定に関するお知らせ

(1)	取得対象株式の種類	当社普通株式
(2)	取得しうる株式の総数	140万株（上限）
	発行済み株式総数（自己株を除く）に対する割合7.58%	
(3)	株式取得額の総額	10億円（上限）
(4)	取得期間	2025/11/14～2026/5/29

配当方針の変更（累進配当の導入）に関するお知らせ

(1)	変更前	配当性向 30%を目安とした安定的な配当政策にすることを株主還元の基本方針としております。
	変更後	事業成長のための投資や財務状況を勘案しつつ、 累進配当（※） を行う事を基本方針とします。ただし、M&A等の大きな投資機会発生の際には、この限りではありません。
(2)	変更理由	当社株式を長期的に保有いただく株主への還元姿勢を明確とする為
(3)	変更時期	2026年3月期の中間配当より適用

※1株当たりの配当金の前期実績に対して、配当維持又は増配を行うものです。



➤ 2026年3月期 通期業績予想 → 増収増益を企図 (単位：百万円)

	売上	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
2025年3月期実績	23,041	1,354	1,124	559	30.39
2026年3月期予想	30,000	2,000	1,800	1,200	65.15
増減率	30.2%	47.7%	60.1%	114.7%	—

➤ 2026年3月期 通期配当予想 → 1株当たり2.5円の増配を予定 (単位：円)

	2023年3月期実績	2024年3月期実績	2025年3月期期末は予想	2026年3月期予想
中間	12.5	12.5	17.5	20
期末	25	25	20	20
年間	37.5	37.5	37.5	40
配当性向	74.6%	48.6%	123.4%	61.4%

※ 2024年12月31日を基準日として1：2の株式分割を実施。分割以前の配当金を分割後の1株当たり配当金に修正して表記
 ※ 2023年3月期期末配当は、創立50周年記念配当12.5円（分割前は25円）を含む

メモ :

セグメント情報

3-① 半導体・メカトロニクス関連事業 中間期実績とトピックス

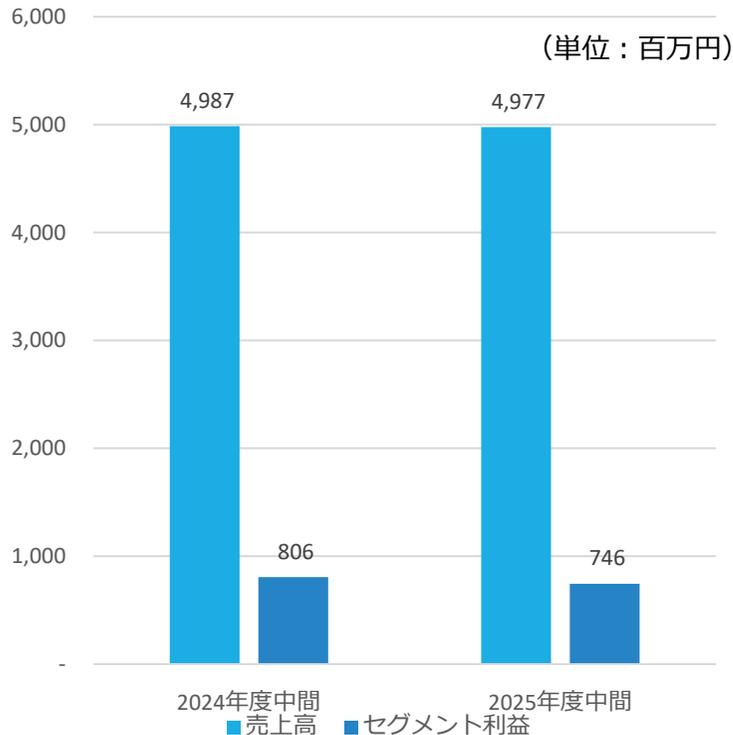
ワイエイシーホールディングス株式会社

取締役副社長

伊藤 利彦



売上高とセグメント利益



構成会社名：ワイエイシメカトロニクス・ワイエイシガーター・ワイエイシビーム・ワイエイシダステック（以上4社）

2025年4月よりセグメント内の構成企業を一部変更しました。
2024年の数値は組み替えた形で算出しています。
半導体・メカトロニクス関連事業では、JEIおよびYACシンガポールの2社が構成から外れています。

中間期分析

- ✓ 前年同期比、減収減益（微減）
- ✓ 引続き、半導体前工程用クリーンコンベア好調
- ✓ 電子部品用テーピング装置好調、相乗効果でのキャリアテープ売上げ好調
- ✓ パワー半導体分野でのSiC用有機洗浄装置、外観検査装置売上げ好調
- ✓ 半導体前工程用IPA乾燥機、純水加温装置好調

トピックス

- 国内車載関連パワー半導体SiC向け投資が更に数年後倒しの予測、ただし、HV車、大容量エアコン等でのSiC採用の可能性あり
- SiC関連は、国策もあり中国での投資が過熱しており、現在、注視している
- 電子部品市場、今後数年間、当社テーピング装置採用可能性あり、キャリアテープ販売への相乗効果あり
- 引続き、半導体前工程用クリーンコンベア関連、好調推移の予測

セグメント情報

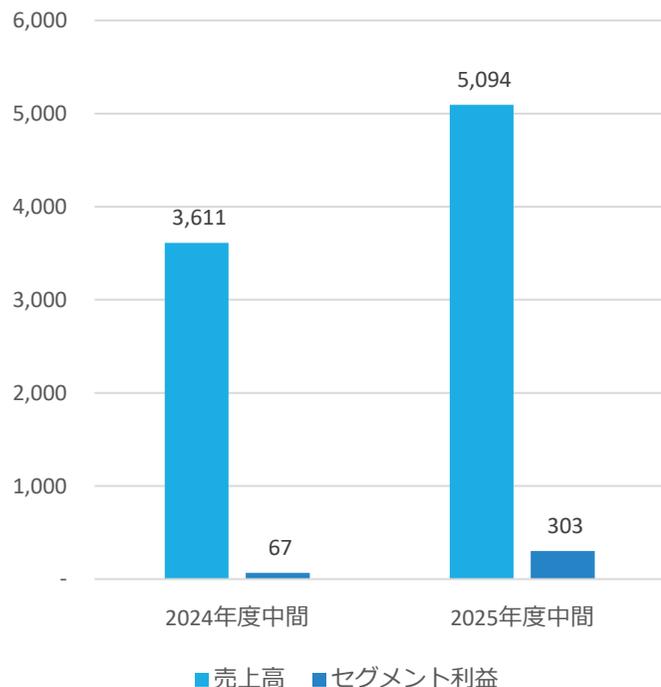
3-② 環境・社会インフラ関連事業 中間期実績とトピックス

ワイエイシーホールディングス株式会社

取締役専務執行役員 **大倉 章裕**



売上高とセグメント利益



構成会社名：大倉電気・ワイエイシデンコー・ワイエイシマシナリー
ワイエイシ上海・JEインターナショナル・テクノオプティス（以上6社）

2025年4月よりセグメント内の構成企業を一部変更しました。
2024年の数値は組み替えた形で算出しています。

環境・社会インフラ関連事業では、JEI,テクノオプティスの2社が構成に
編入されています。

中間期分析

- ✓ 前年同期比、増収増益
 - ✓ ディスプレー関連事業が利益に貢献
 - ✓ M&Aによるあらたな光計測器事業が利益に貢献した
- 【セグメントの課題】
- ✓ 電力設備市場の下期偏重
 - ✓ EC物流市場への装置販売の遅れ、光学検査装置の拡販

トピックス

- 再エネ、蓄電池増強に関連した電力情報伝送向け装置需要
- 保守点検の自動化、AI活用に着目した新事業展開
- 半導体パッケージング市場への製品展開（FOPLP）
- 従来の検査機器にAIを活用することによる販売拡大

セグメント情報

3-③ 医療・ヘルスケア関連事業 中間期実績とトピックス バイオ事業の進捗について

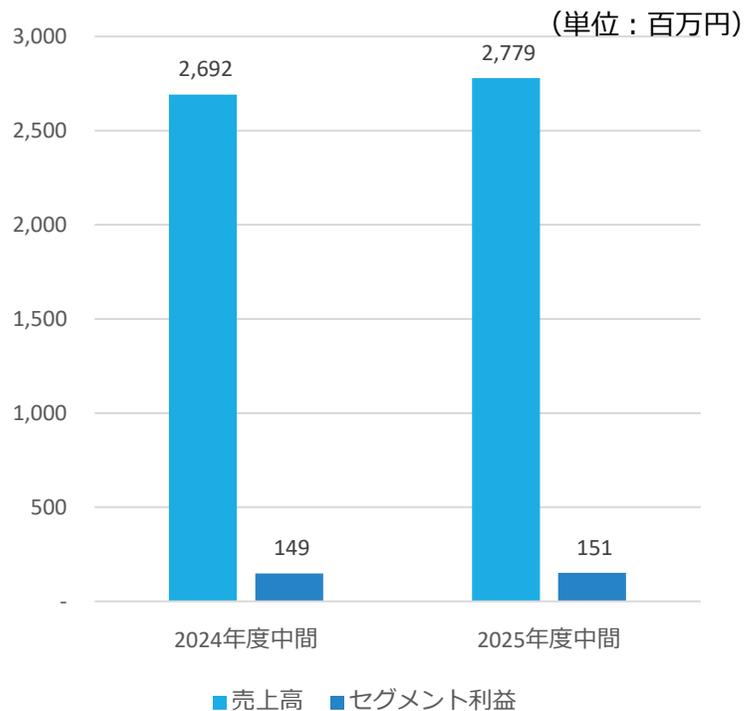
ワイエイシイバイオ株式会社

代表取締役社長

関口 孝



売上高とセグメント利益



構成会社名：ワイエイシイエレックス・ワイエイシイバイオ
ワイエイシイシンガポール（以上3社）

2025年4月よりセグメント内の構成企業を一部変更しました。

2024年の数値は組み替えた形で算出しています。

医療・ヘルスケア関連事業では、YACシンガポール1社が構成に編入されています。

中間期分析

- ✓ 前年同期比、増収増益（微増）
- ✓ 次世代人工透析機の生産本格化
- ✓ 7月よりClearStrand®-ASDサービスの開始
- ✓ 微生物用自動染色装置の上市

トピックス

1. 7月米国ライナスバイオ社とサービス合意書の締結と自閉スペクトラム症のClearStrand®-ASDサービスの開始
2. 筑波大学と共同研究『毛髪を用いた小児発達障害の診断方法に関する臨床応用技術の開発』を基本合意（2025年7月15日）
3. ライナスでの当社技術者解析トレーニング実施。
4. 高感度光デジタル免疫測定装置：KI★ZA★SHIの開発
5. 11月22日（土）認知症学会「認知症疾患の血液バイオマーカー開発の最前線～超高感度多項目測定 & EVバイオマーカー」イブニングセミナーにてお披露目。
6. 量子研の特許を活用した試薬を開発中、将来販売予定。
7. 産総研との「ノロウイルス検出測定装置」の共同研究と社会実装への取り組み。

ワイエイシイバイオ株式会社 事業概況ご説明

ワイエイシイホールディングス決算説明会資料

2025年11月19日

Copyright ©YAC BIO inc. 2025

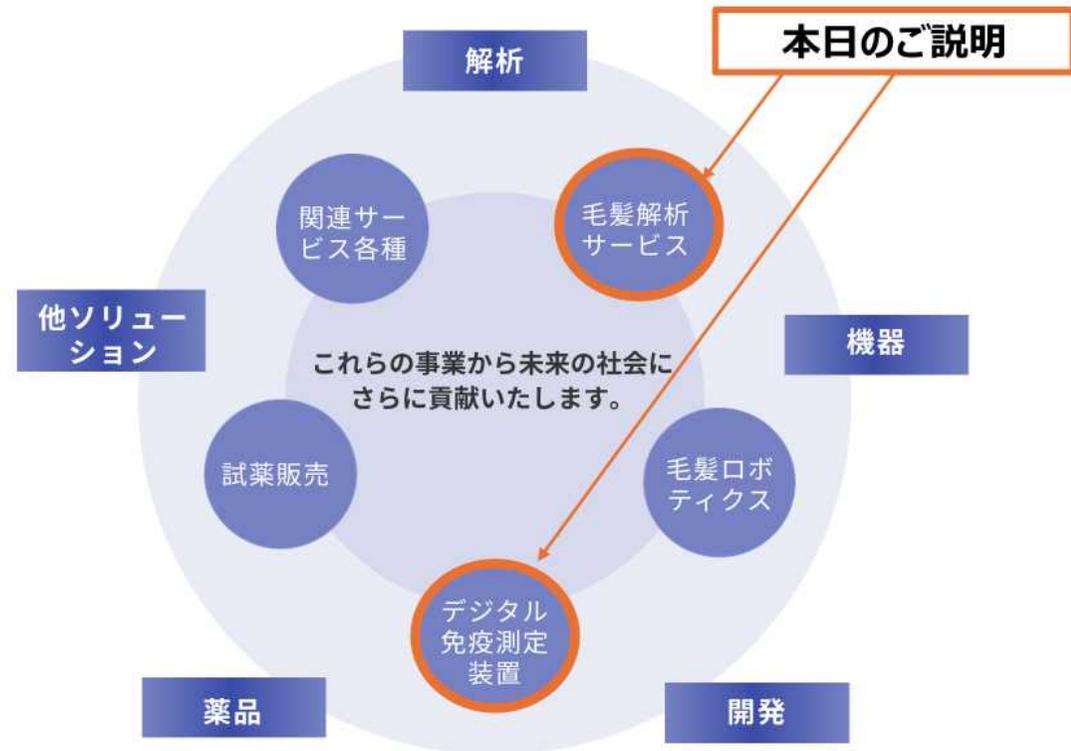
ワイエイシイバイオ株式会社 主な事業内容

私たちのミッション

新しい個別化医療のプラットフォームとして、幅広い領域での革新を目指す。

未来に向けたビジョン

医療領域にとどまらず、他産業にも応用可能の開発・提供を通じ、広範な社会課題の解決に貢献、医療従事者や患者様、企業、地域社会へ、包括的な価値を届けることにより、健康と安全を支える役割を果たす。



本日のポイント ～ エグゼクティブサマリー

毛髪による自閉スペクトラム症（ASD）解析サービス

- ライナスバイオテクノロジー社とのJV設立は引き続き準備中
- 毛髪解析サービスのエコシステムを、各ステークホルダーと議論、構築中～包括的展開を推進
- 医療機関との契約関連進捗、毛髪解析の実績積み上げ中～順調に展開中

高感度光デジタル免疫測定装置事業～認知症マーカー等の測定

- 昨年ご説明した「NeuroDetect」の改良機・新型モデル：モデル名(案)「KI・ZA・SHI」※の仕込み中
～11月22日認知症学会にてお披露目  ※商標登録出願中
- 試薬の市販化（11月より）
- 要素技術を応用した「ノロウイルス検出」装置を「国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）」と共同開発実施中～2026年夏頃の市販化を目指す。 

2025年11月19日

Copyright ©YAC BIO inc. 2025

毛髪解析サービス事業

毛髪による自閉スペクトラム症（ASD）スクリーニングサービス ～Linus Biotechnology, Inc. とサービス合意書締結～



サービス合意書締結



LinusBio CEO マニッシュ・アローラ社長
マウントサイナイ大学教授（副学部長）
9月10日オンライン講演会開催

ClearStrand®-ASD
クリアストランド

ClearStrand®-ASDについて 検査方法 自閉スペクトラム症(ASD) よくある質問
会社概要 参考・引用文献 特商法 問い合わせ

必要なものはお子さまの髪の毛のみ!

Test=検査
Wait そして **未来へ**

ClearStrand®-ASDは、
自閉スペクトラム症（ASD）診断補助サービスです。
（現在時点、保険適用外の検査になります。）

※ClearStrand®は米国企業Linus Biotechnology社の登録商標です。

[くわしく知りたい](#)

当社HP

日本国内唯一のサービス提携先

2025年7月22日ローンチ、現在日本国内で展開中

Copyright © YAC BIO inc. 2025

毛髪による自閉スペクトラム症 (ASD)解析サービス事業 ～ 前回の振り返り



ASDの現状と社会課題

- 日本では約2~3% (約40人に1人) がASDと診断。
- 診断まで平均1~2年、地域差が大きい。
- 学校・職場での理解不足、早期支援までの空白期。

共通課題：早く・正確に・低負担で気づける仕組みが必要。

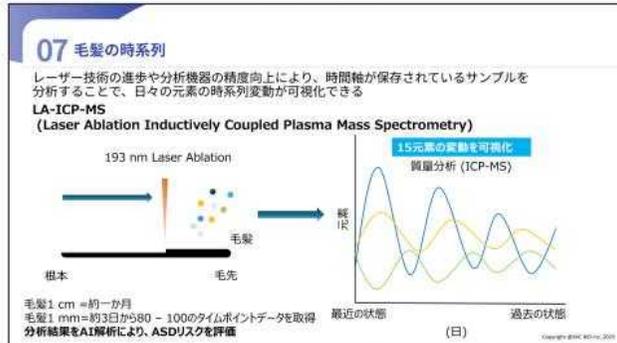
ClearStrand®-ASD 技術概要

- 毛髪1本から代謝パターンをAI解析し、ASD関連の時間的変化を検出。
- 米国Linus Biotechnology社 (マウントサイナイ医科大学) 開発アルゴリズム。
- 非侵襲・低負担・高再現性の診断補助ツール。

臨床性能と展望

感度 (Sensitivity) : 96%
 特異度 (Specificity) : 80%
 出典 : J Clin Med. 2022 Dec 1;11(23):7154.

- ◎ 医療・教育・行政連携で早期支援を促進。
- ◎ 出口戦略を構築 (～後述)
- ◎ 毛髪解析サービスプラットフォームを構築。



クリアストランド
ClearStrand® ASD

毛髪中の元素変動からわかるASDリスク

ClearStrand® ASD は、米国LinusBio社が開発した、世界の毛髪を用いたASD (自閉症スペクトラム症) 診断補助技術です。毛髪中の微量元素 (水素、鉛、ヒ素、亜鉛など) の変動パターンをAIで解析することで、明確な行動特性が現れる前にASDリスク傾向を客観的に評価します。

精密な
Robotics

当社の独自技術

最先端分析法
LA-ICP-MS^{※1}

レーザー質量分析

最新の
AI解析

元素の変動パターンを解析

精密技術と最先端分析法の融合

※2
毛髪 **5本**のみ

非侵襲・身体的負担なし

感度 **96%**

海外スクリーニングとして有用

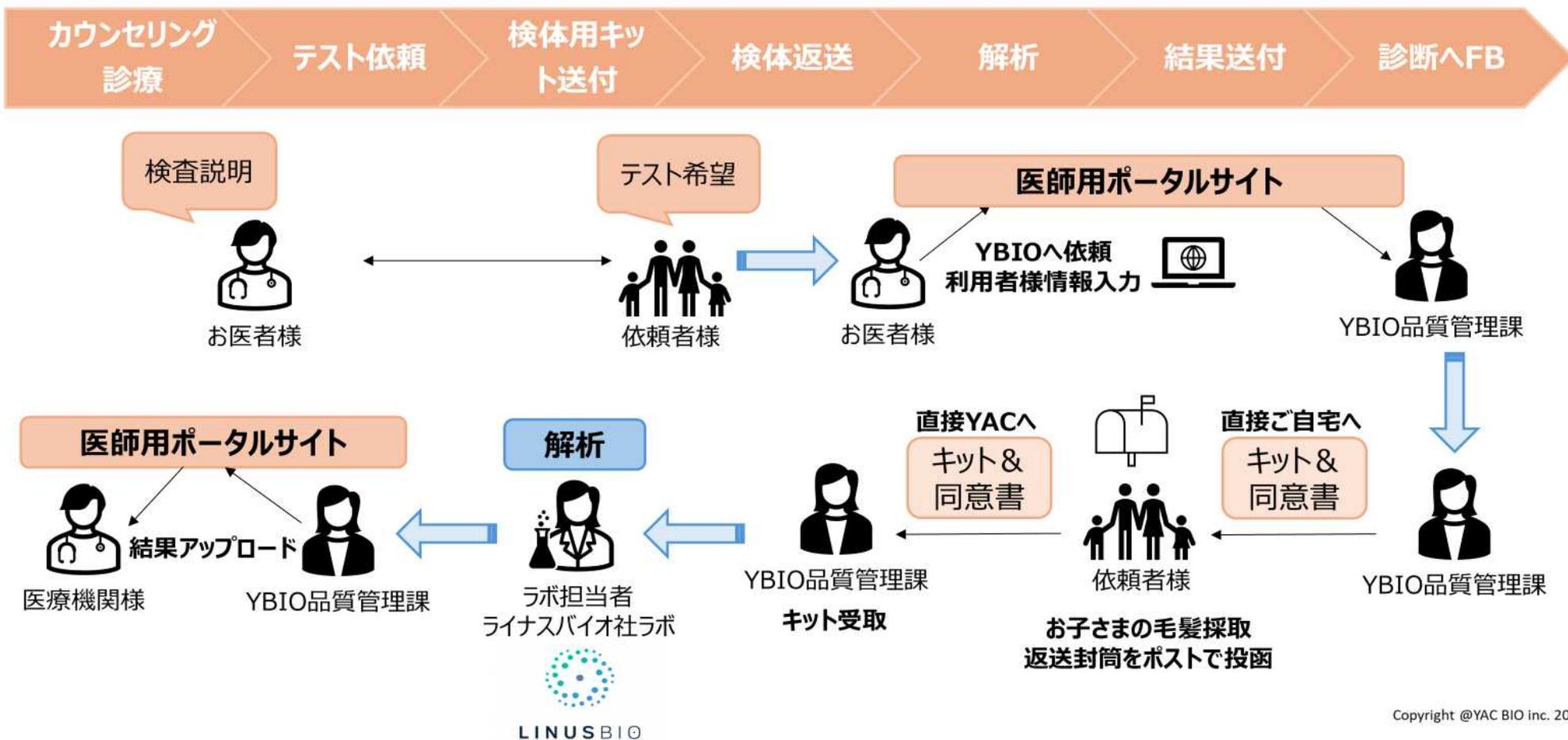
※3
米国 **49**州

(2023年7月現在)

医療機関向けパンフレットより抜粋 Copyright ©YAC BIO inc. 2025

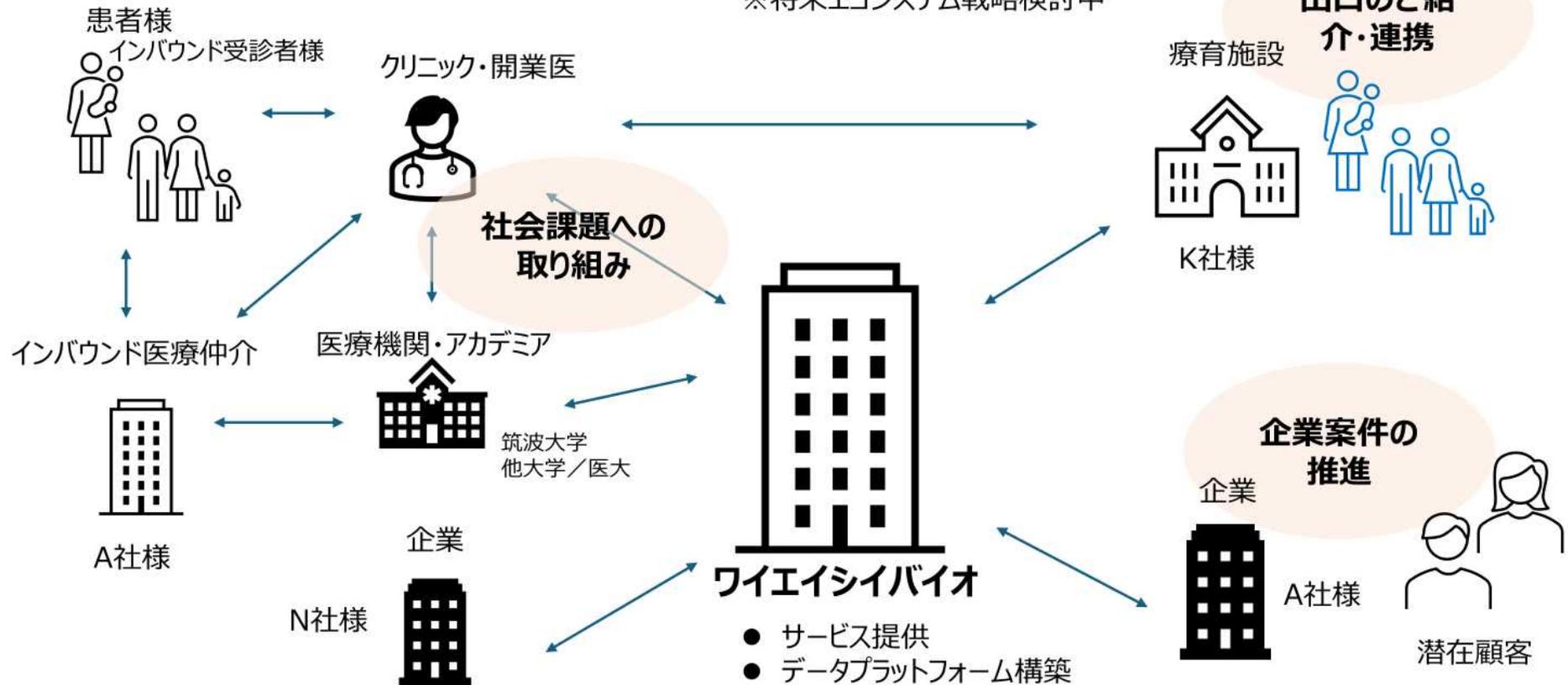
サービスフロー ～自由診療の枠組みで、サービスプラットフォーム構築

営業管理～顧客管理～データ管理の一气通貫システムのプラットフォーム構築



エコシステム概要～現状※の広がり

※将来エコシステム戦略検討中



入口（早期発見）から出口（早期介入：療育）まで含めたエコシステムの構築で企業としての責務を果たす

Copyright © YAC BIO inc. 2025

活動実績～医療機関・クリニック・企業案件、他

サービス契約締結 5件
都内医療機関----- 3件
札幌市内医療機関----- 1件
福岡県柳川市内医療機関---- 1件

アイデスクリニック（東京都）
N2クリニック（豊島区）
井出小児科（目黒区）
榆の会こどもクリニック（札幌市）
柳川医療センター（福岡県）

代理店契約締結-----3件
（インバウンド医療含む）

産学連携（共同研究）
筑波大学----- 基本合意済
その他大学（議論中）---- 3 拠点

実績（検査本数）
ライナスへ送付済み-----6件

企業との秘密保持契約締結--- 5 件
ライナスへの当社解析技術者派遣・研修実施

ローンチ後、約4か月で順調な滑り出し～今後エコシステム構築、事業の加速

超高感度測定機器 関連事業

- ① 高感度光デジタル免疫測定装置 KI*ZA*SHI の開発とローンチ
- ② 産総研とのノロウイルス検知器の共同開発と社会実装

①-1 高感度光デジタル免疫測定装置

KI★ZA★SHI

※登録商標出願中

Knowledge & Innovation – Zenith Accuracy – Science of Human Insight

「見えない生命の情報を知識(Knowledge)に変換する技術」

開発の背景と研究基盤

- KI★ZA★SHI は、産業技術総合研究所（産総研）と共同研究によって生まれた日本発の「MCDIA（Multiparticle-Concentrated Digital Immunoassay）」技術をベースに開発された初の量産機です。
- 理論的にはフェムトg/mLレベルのバイオマーカーを検出できる能力を有し「見えなかった生命現象」を可視化
～微量の血液から「認知症バイオマーカー」の測定が可能となる感度を有する。
- より早期に、より手軽な検体で、より少量で測定することで、患者様の負担を軽減し、社会課題解決に貢献していきます。



HP



Digital ELISA
(1分子カウント方式)

高効率化による短時間測定
高感度測定をより手軽に



MCDIA
(多粒子格納型)



11月22日(土) 日本認知症学会イブニングセミナー開催

日本発の革新的原理と精密技術が織りなす次世代測定プラットフォーム

Copyright ©YAC BIO inc. 2025

①-2 認知症バイオマーカー測定装置&キットの開発と販売

日本社会に於ける認証対策の緊急性

【超高齢化の進行】

- ・2030年には総人口の3人に1人が高齢者に到達見込み。
- ・認知症患者は約900万人超と推計
(日本は類まれな超高齢化社会)。

【社会的・経済的コスト】

- ・2030年、関連コストは約20兆円規模に拡大。
- ・年間10万人以上が家族介護で職を離職。
労働損失による国内生産性を圧迫。

【早期発見の意義】

- ・MCI (軽度認知障害) 段階での介入が進行抑制に有効。
- ・血液検査は低侵襲・低コスト・高アクセス。

→2030年に向けて、血液バイオマーカー検査は
医療・介護費の削減、就業継続支援、社会的生産性維持の
要となる。

血液バイオマーカーによる認知症診断の潮流と市場規模

【FDAの最新動向 (2024-2025)】

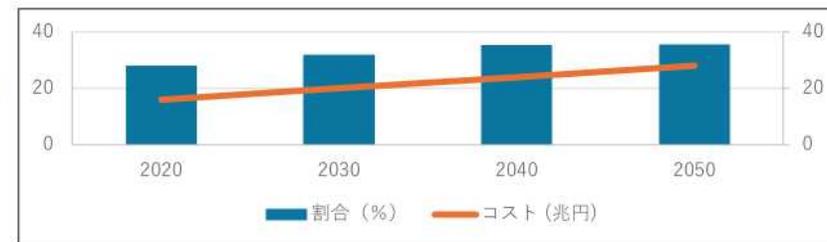
- ・血液 (血漿成分) 中の超微量のpTau (リン酸化Tau) 検査を認知症の
検査補助としてFDA承認。
- *世界的に認知症検査は血液検査が将来的に補完する方向性へ

【成長ドライバー】

- ・アルツハイマー治療薬の保険収載・標準化の進展。
- ・いくつかの画期的作用機序の新薬が臨床試験中

【市場予測レンジ】 ※当社予測

- ・短期 (～2026) : 90～200億円 中期 (～2030) : 300～500億円。



KIZASHIの高感度である利点を活用した認知症バイオマーカー (脳内Aβ) 測定への貢献 ～pTau217測定キットの開発販売

更に、徳田教授・量子研特許のmid-pTau認知症バイオマーカー (脳内Tau蓄積量) 測定キット開発中

Copyright @YAC BIO inc. 2025

② 産総研とのノロウイルス検知機の新規開発

～食の安全と公衆衛生のため、現場から感染を止める～

■ 背景と課題

ノロウイルスは**わずか10～100粒子で感染**する極めて感染力の強いウイルス

食品関連施設・学校・医療・介護現場などで**毎年集団感染が発生**

検査は高感度検査が必要なためRT-PCR (リアルタイム-PCR) が主流であり、**設備・専門技術・時間**が必要で、現場での即時対応が困難

⇒感染拡大防止には、「**迅速**」「**正確**」「**現場で完結する**」検査体制が不可欠

■ 開発の目的

“**検査場から現場へ**”——その場で、誰でも、すぐに。

MCDIAを搭載した小型装置

小型・簡易操作で**数十分以内に結果取得**

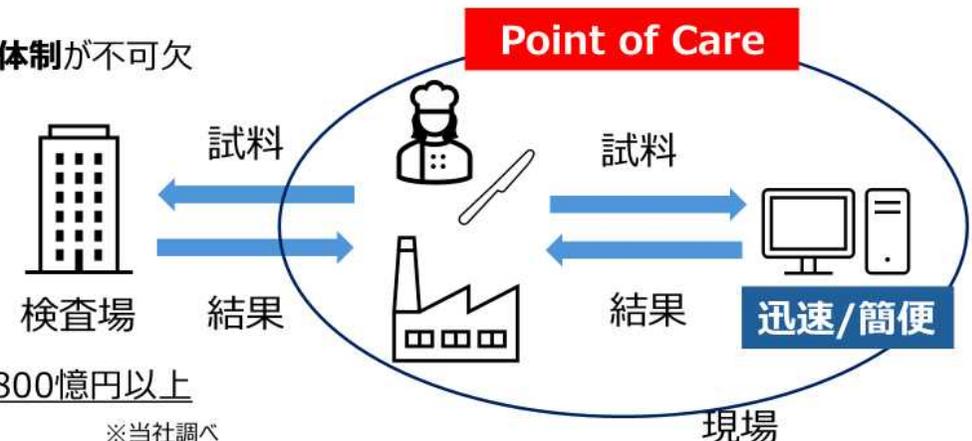
感度：**60粒子/μL** (RT-PCRに匹敵)

設備不要、現場での即時判定が可能

食品工場、給食施設、調理現場などを想定～想定市場規模800億円以上

※**検査の為の「試薬」は開発済み**

※本技術は、O-157、インフルエンザウイルス検出にも応用可能



ノロウイルスの現場即時検査という新市場を開拓

■ メモ



4 ワイエイシイグループの現状と展望

ワイエイシイホールディングス株式会社

代表取締役社長

百瀬 武文

ワイエイシイグループの目指す方向

2030年

1,000億円企業

量産製品の
開発・拡販

SIC チップ キャリアター 合成燃料
ハンダー

8テーマ進行中!

量産新製品

既存事業の
成長

医療ビジネスの
立上げ・成長促進

毛髪・血液による疾病検査

医療ヘルスケア
ビジネス立上と
成長

M&A

M&Aによる
グループの成長拡大

1. 既存事業の拡大
2. 量産新製品
3. 医療ビジネス
4. M&A

2030年

1,000億円企業

2027年度～2029年度中期経営計画 (予)

2024年度～2026年度中期経営計画

営業改革

- 組織的営業活動（顧客コンタクト数の拡大）
- 営業支援ツールの活用 AIの活用

経営効率アップ

- 一人当たり売上額：1億円
- 量産新製品の創出

粗利率アップ

- 依命システムの完全実施 / コスト設計
- 仕入価格の低減、販売価格アップ

30%
超え

財務の健全化

- 売掛金の早期回収
- 適正在庫の管理徹底

全員経営

- 社長の率先垂範
- 社員全員で知恵を出す / 量産新製品のアイデア集め

テーマ

各社売上 100億円運動

量産新製品の創出

AI化の推進

期中受注 期中売上

経営効率アップ 1億円/人

人事・総務・経理システム化

各社売上100億円運動

経営効率アップ
売上1億円/人



AI化の推進



期中受注
期中売上

人事・総務・経理の
システム化



量産
新製品の
創出

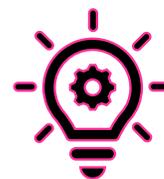
ワイエイシイグループは、**成長投資・先端技術開発**で企業価値向上の期待に応えます
ワイエイシイグループは、高配当の維持で株主様の期待に応えます。

【成長投資注力会社】

- ワイエイシイバイオ株式会社 自動デジタル抗体検出技術
- JEインターナショナル株式会社
株式会社テクノオプティス AIによる光学検査技術
(その他のテーマも進行中)



累進配当導入



自己株式取得

10億円（上限）

140万株（上限）



5. 質疑応答

ご質問のある方は、挙手をお願いいたします

司会よりご指名後、ご発言をお願いいたします

さあ今日も、明るく、元気よく
ときめきと感動の日々であれ！

くまやか先端技術企業集団
 **ワイエイシーグループ**